

○事業所名	放課後等デイサービス ジョイジョイ		
○保護者評価実施期間	2026年2月13日		2026年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2026年2月13日		2026年3月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育では、学習支援を行っているので、1対1のスタッフが配置できるように配慮しているところ。	利用者の特性に応じて、環境を考えながら集中しやすい状況を整えるようにしている。	個別で関わる中で、学習だけでなく、利用者の話を1対1で聞いたり、コミュニケーションに課題がある利用者に対しては、一緒に対応を考えたりできるような時間にしていきたい。
2	集団療育では、遊びを通してコミュニケーションの向上を図り、長期休みはお出かけなどの活動を行っているところ。	利用者がやりたい遊びを楽しめるように、ボードゲームなどをそろえたりしている。また、身体を動かす遊びも行っている。長期休みはお出かけやクッキング、製作、お買い物体験などプログラムを決めて行っている。	遊びの中で、コミュニケーションの向上が図れるように、スタッフが仲介したりしながら引き続き支援していく。利用者の成長に繋がるような経験を増やせる場を提供していく。
3	保護者が気軽に話せる場を提供しているところ。	送迎時に保護者とその日の様子を話せるようにしたり、LINEなどを通じて、活動の様子を写真などで伝えたりしている。	保護者が疑問に感じたり、心配な点があれば、対面や電話などで対応できるように努力する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者にとって十分なスペースやクールダウン出来る場所が確保できているか。	小学生から高校生までいるので、身体の大きさに違いがあったり、利用者の特性によっては一人で静かにしたかったり、特性の違いがあること。	トラブルの原因にならないように、場所を確保したり、室外も利用するなどして、利用者がリラックスして過ごせる場所を考える。
2	今年度は、ペアレントトレーニングが出来なかったこと。	新しく利用された保護者に対して、ペアレントトレーニングのアプローチが少なかったこと。	保護者が気軽に話せる場を提供し、保護者間や利用者の兄弟間でも交流できるような機会を提供する。
3	17時の終了なので、6時間下校の利用者や地域の中学生にとっては、滞在時間が短いところ。	学習時間と遊び時間の調整が必要なこと。	利用者自身の優先事項を聞きながら、短い時間でも充実した活動が出来るようにする。中学生以上は、送迎が無しであれば、17時30分まで滞在できるようにしている。